

インドからの JENESYS2018 参加者の決定

JENESYS2018 において、インドより、学生及び若手社会人の計 80 名が招へいされることが決定しました。

今年度は、AFS インディアを実施団体として、4つのテーマに沿ったグループを招へいし、参加者は、12月5日に来日し、オリエンテーションの後、各地で行われる交流プログラムやホームステイを通じて日本の文化や技術を体験します。

テーマ	人数	訪問先
スポーツ交流（ホッケー）	20名	島根県奥出雲町
環境技術	20名	福岡県、宮崎県、大分県等
科学技術	20名	愛知県、島根県、鳥取県等
日本語・日本文化	20名	京都府、大阪府、広島県等

【参考】

1. JENESYS プログラムについて

プログラム名は、Japan - East Asia Network of Exchange for Students and Youths の略称。

日本とアジア大洋州の各国・地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充するもの。

JENESYS プログラムの詳細は以下のリンクもご参照ください。（外務省 HP）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page23_002482.html